

ウクライナ緊急支援募金 FAQ

ウクライナ緊急募金に対し、皆さまには多大なるご協力を賜り、誠にありがとうございます。
これまでに会員の皆さまや一般の方がたくさん寄せられたご質問に回答いたします。
引き続き、温かいご理解とご協力のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

Q ルーマニアユネスコ協会センタークラブ連盟（ルーマニア連盟）、チグヌス科学ユネスコ協会とはどんな団体ですか。

A 当連盟同様、UNESCO 憲章の精神に基づき活動する民間ユネスコ組織です。チグヌス科学ユネスコ協会はルーマニア連盟に属し、UNESCO 本部の世界の民間ユネスコ団体リストにも掲載されています。ルーマニア連盟代表は、2017 年の全国大会（仙台）に参加しました。

Q 誰を対象にしているのでしょうか。

A 対象地域は、ウクライナ国境沿いエリアおよび避難民の流入国です。
4 月 1 日現在は、ルーマニアに退避するウクライナからの避難民を支援しています。国境を挟み、ウクライナ側・チェルノーティ市、およびルーマニア側・スチャバ市に一時滞在する人びとが対象です。詳しくは、チラシやホームページの情報もご参照ください。

Q ルーマニア国境地域以外の国は対象にならないのですか。

A 現在、パートナー団体を探しながら、今後はルーマニア以外の国での支援も予定しています。

Q 募金は何に遣われるのでしょうか。

A 上記支援先に避難した人びとの一時滞在に必要な物資の購入費（衣類、寝具、食糧など）にあてられます。すでに一部避難民の方には支援物資が行きわたっています。
その様子は、連盟 HP や Facebook、YouTube でもご確認いただけます。

Q チラシの写真に写っているのは、ウクライナの方なのでしょうか？

A ウクライナは各国から労働者や留学生を受け入れています。今回のロシア軍の侵攻では、ウクライナ人のみならず、これらの人びとの生存も脅かされています。当連盟では UNESCO 憲章で唱える人種の平等を勘案し、支援はウクライナからの避難民すべてを対象にしていると示すために、現地から提供された複数の写真から、南アジア系の避難民が写っている写真を使用した経緯があります。今回の侵攻は、単に一国の危機ではなく、世界の人びとを相手した重大な問題であると認識しています。

Q 書きそんじはがきをウクライナ募金へ振替することは可能ですか。

A ハガキ等は「世界寺子屋運動」へのご寄付となり、ウクライナ支援にはあてられません。

Q 6 月以降（募金受付終了後）でないと、支援金は現地に届かないのですか。

A 送金は開始しています。現金引き出しの上限など現地の諸条件も踏まえ、支援先と協議の上で、複数回に分けるなどして行っています。